

そう だい しゅつ き
総 題 「出エジプト記」

だいごか すぎこし はちがつふつか
第5課 過越（8月2日）

つむら しょう
津村 聖

いち あんそくにちごご
1. 安息日午後

あんしやうせいく
[暗唱聖句]

もし、あなたがたの子供たちが「この儀式はどんな意味ですか」と問うならば、あなたがたは言いなさい、「これは主の過越の犠牲である。エジプトびとを撃たれたとき、エジプトにいたイスラエルの人々の家を過ぎ越して、われわれの家を救われたのである」。出エジプト記12:26、27、口語訳

神様はエジプトにただ災いを与えたわけではなく、災害から逃れる道を示しておられました。神様が示された「逃れる道」に従うか、従わないかというのが問われていました。私たちは神様の御心を知っていながら従わないことはないでしょうか。今、私たちが何に従っているのか

に にちようび ひと わざわ
2. 日曜日：もう一つの災い

神様は「愛」と「正義」という2つの性質を持っています。私たちは自分の力で「愛」と「正義」の両方を行うことはできません。私たちは「愛」と「正義」の両方を行うことができるのは私たちが神様とともに歩むときです。

「主が何を前にお前に求めておられるかは／お前に告げられている。正義を行い、慈しみを愛し／へりくだって神とともに歩むこと、これである」。ミカ6:8



さん げつようび すぎこし
3. 月曜日：過越

私たちは自分たちの見えるもので判断しがちです。しかし、神様が私たちに求めておられるのは神様を礼拝することです。神様を礼拝しているならば、必要なものは神様が備えてくださいます。神様を第一にして参りましょう。過越の経験、つまり神様からの祝福と恵みを受けた経験を私たちは



しています。イスラエルの人々はその経験^{ひとびと けいけん つぎ せだい つた}を次の世代にも伝えていきました。私^{わたし}たちも自分の神様^{じぶん かみさま}との経験^{けいけん つた}を伝えていきましょう。

4. 火曜日：「ペサハ」（過越祭）

過越^{すぎこし}の際^{さい}に鴨居^{かもい}に塗^ぬられた小羊^{こひつじ}の血^ちは、世^よの罪^{つみ}を取り除^とく神^{かみ}の小羊^{こひつじ}であるイエス様^{さま}を指^さし示^{しめ}していました。過越^{すぎこし}の祭り^{まつ}の中でも罪^なの象^{つみ}徴^{しやうちやう}である※酵母^{こうぼ}を取り除^といたパン^{のぞ}が食^たべられていました。私^{わたし}たちが取り除^とかなければならな^い罪^{つみ}はなんでしょう？ 自分^{じぶん}が神様^{かみさま}との関係^{かんけい}をより良^よくしていくために取り除^とかなければいけな^いものはなん^なのかということ^{いまいちどかんが}を今一度考^{かんが}えてみてください。



※酵母^{こうぼ}（パン種^{だね}）：パンを膨^{ふく}らませる物^{もの}（糖^{とう}をアルコールと炭酸ガス^{たんさん ぶんかい}に分解^{ぶんかい}する微生物^{びせいぶつ}）

5. 水曜日：「継承する」（「継承する：伝えるという意味」）

私^{わたし}たちは今^{いま}伝えるということの重^{じゅうようせい}要^{つよ}性^{かん}を強^つく感^{かん}じているのではないでしょう^か。なぜ、伝える^{つた}ことができないのでしょうか。伝えること^{つた}に恐^{おそ}れを抱^{いだ}いてはいないでしょう^か。神様^{かみさま}があなたにし^てくださったことをあなた^{みちか}の身^{ひと}近^{つた}な人^{おくびよう}に伝^{れい}えてください。臆^{かみさま}病^{れい}な霊^{れい}は神様^{かみさま}の霊^{れい}ではありません。力^{ちから}強^{つた}く伝^{つた}えていた^{あいて}だきたいです。それはもちろ^んん伝える相手^{あいて}のためではありませんが、それだけ^でではなく、あなた^{あら}の新^{かみさま}たな神様^{けいけん}との経験^{けいけん}になるのです。

6. 木曜日：「神の裁き」

私^{わたし}たちは神様^{かみさま}の裁^{さば}きをど^{とら}のよう^にに捉^{とら}えているでしょう^か。私^{わたし}たちに起^おこる悲^ひ惨^{さん}（悲^{かな}しくみじめ）な出来事^{できごと}は、私^{わたし}たちの罪^{つみ}の（自分^{じぶん}が正^{ただ}しいと思^{おも}って行^{こうどう}動^{どう}した）結^け果^{っか}である場^ば合^{あい}があります。神様^{かみさま}は私^{わたし}たちに自^じ由^{ゆう}意^い志^しを与^{あた}えてくださいました。だから私^{わたし}たちには選^{せん}択^{たく}の自^じ由^{ゆう}があります。しかし、全^{すべ}てが私^{わたし}たちの益^{えき}（プ^らス）になるわけではありませ^ない。私^{わたし}たちが罪^{つみ}の性^{せい}質^{しつ}（自分^{じぶん}が1番^{いちばん}と思^{おも}うこと）に從^{したが}って悪^{あく}を選^{せん}択^{たく}してしまうことがあるから^{です}。悪^{あく}を選^{せん}択^{たく}した結^け果^{っか}を私^{わたし}たちは刈^かり取^とるのです。そして悪^{あく}を選^{せん}択^{たく}した結^け果^{っか}によ^よって本^{ほん}人^{にん}だけではなく本^{ほん}人^{にん}以外^{いがい}に影^{えい}響^{きやう}を及^{およ}ぼす場^ば合^{あい}もあるのです。これが罪^{つみ}（自分^{じぶん}が正^{ただ}しいと思^{おも}って行^{こうどう}動^{どう}した）の恐^{おそ}ろし^さです。

7. 金曜日：「さらなる研究」

イエス様の十字架^さはあなた^なのため^{きんようび}の物^{けんきゆう}です。もちろ^んん全^{ぜん}人^{じん}類^{るい}のため^しに死^しなれ^なましたが、その中^{なか}にあなた^なも含^{ふく}まれているとい^わすことを忘^{わす}れな^いいでください。私^{わたし}たちはイエス様^{さま}が私^{わたし}たち1人^{ひとり}1人^{ひとり}のため^しに死^{わす}なれたことを忘^されが^ちです。イエス様^{さま}はあなた^なの魂^{たましい}が救^{すく}われるその光^{こう}景^{けい}を見て、あな

たが^{すく}救われるのであれば十字架^{じゅうじか}の^{さかずき}杯^のを飲もうと決心^{けっしん}されたのです。イエス
様の^{さま}愛^{あい}はあなたに^む向けられています。イエス様^{さま}と神様^{かみさま}から^む向けられているあ
なたに^{たい}対する^{あい}愛^{きょう}を^う今日^と、^と受け取^とってください。イエス様^{さま}と神様^{かみさま}とあなたとの
関係^{かんけい}がこれからますます^{ふか}深^いまりますよう祈^{いの}っております。

